

キウイフルーツ特報No.3



2022. 6. 17

J A 中 野 市 園 芸 課

J A 中 野 市 キ ウ イ フ ル ー ツ 研 究 会

生育は、昨年より1日程遅く進んでいます。 開花期6/5（間山）

病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

また高品質生産に向け、適期に適正なフルメット液剤処理を行いましょ。

1、病害虫防除

7月上旬	果実軟腐病	対策	(10aあたり	350リットル)
------	-------	----	---------	----------

水	100ℓ			
---	------	--	--	--

展着剤	10mℓ			
-----	------	--	--	--

ダコニール1000	100mℓ	(60日前、7回)		
-----------	-------	-----------	--	--

*ダコニール1000に代えてベンレート水和剤2,000倍（7日前、5回）でも良い。

*カメムシの吸害が心配される園地（山間部、街灯が近くにある等）では、アディオン乳剤2,000倍（7日前、5回）を加用する。

◇ 夏季管理講習会について

夏季管理についての講習会を開催致します。
都合をつけて、ご参加下さい。

日 時 : 7月13日(水) 午前11時

集合場所: 日野集出荷所(日野事業所跡地道向かい)

内 容 : 新梢管理について(芽かき、誘引、摘心)

【新梢管理】⇒一定の明るさを保つよう管理する

① 7月上旬頃より、2~3回新梢管理を行い、棚面の明るさを保つ。

② その後も、新梢の巻き付き部や徒長枝の整理を行う。

詳しくは5月配布のキウイフルーツ情報をご覧ください。

裏面もご覧ください。

2、フルメット液剤処理

①処理時期目安

・赤肉・黄肉系品種（レインボーレッド／ゴールド）

開花日	20日後	25日後	30日後
5/18	6/7	6/12	6/17
5/19	6/8	6/13	6/18
5/20	6/9	6/14	6/19
5/21	6/10	6/15	6/20
5/22	6/11	6/16	6/21
5/23	6/12	6/17	6/22

・緑肉系品種（ハイワード）

開花日	20日後	25日後	30日後
6/5	6/25	6/30	7/5
6/6	6/26	7/1	7/6
6/7	6/27	7/2	7/7
6/8	6/28	7/3	7/8
6/9	6/29	7/4	7/9
6/10	6/30	7/5	7/10

② 処理方法 処理は年1回だけです。時期に応じて濃度を調整して下さい。

処理時期	処理濃度	処理方法
開花 20～25日後	2.5ppm (水4㍓にピン1本10ml)	果実浸漬処理
開花 25～30日後	5ppm (水2㍓にピン1本10ml)	果実浸漬処理

③ 処理上の注意

- ・乾ききる前の降雨で効果が低下するため、処理後に降雨がない日を選ぶ。
- ・着果量が多いと樹体への負担が過剰となり、樹勢低下や隔年結果の原因になりやすい。
⇒樹勢に応じた着果管理をしてからフルメット処理を行いましょう。
- ・処理濃度を高く行ったり、処理時期を早く行ったりすると、過度に果実が肥大して、変形や糖度が低下する等の問題を生じやすい。
- ・果頂部の突出や扁平果・果梗部の亀裂等が発生する場合がある。また、奇形果は果肉の軟化や落果等も生じやすいので注意が必要。